



# 侵入害虫イネミズゾウムシの 防除対策の確立



イネミズゾウムシ成虫



回転式ネットトラップ



越冬調査



イネミズゾウムシ防除技術確立之碑

（作物研究所開発）

イネミズゾウムシ成虫による被害

## 背景

イネミズゾウムシはアメリカ原産の害虫です。日本では1976年に愛知県で最初に発見され、その後、全国の水稲栽培地域に被害が拡大しました。イネミズゾウムシによる被害は成虫による葉の食害に加え、幼虫による根の食害があります。試験場では、被害抑制のためイネミズゾウムシの防除技術の開発を行いました。

## 成果の内容

イネミズゾウムシの発生生態、発生予察法（発生時期や発生量を予測する方法）、防除方法などについて研究を行い、安定した防除対策を確立することができました。

## 愛知県農業への貢献

イネミズゾウムシは国内に広がりましたが、試験場の試験研究成果等により、現在では、大きな被害を受けることはなくなっています。

（環境基盤研究部）